

一般社団法人 日本腎不全看護学会

2023年度 定時社員総会資料

日 時:2023年11月17日(金)
16:00 ~ 17:00

会 場: 仙台市中小企業活性化センター
多目的ホール
(宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1)

【報告事項】

- ・入会状況・年会費納入状況
- ・2022年度事業報告
- ・その他の活動報告

【決議事項】

第1号議案:2022年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

第2号議案:2023年度事業計画および予算案承認の件

第3号議案:理事選任の件

※社員総会にご出席される方は、この資料を必ずご持参ください。総会の円滑な運営にご協力をお願いいたします。

一般社団法人日本腎不全看護学会 第4期組織図



[暫定] 選挙管理委員会

正会員:CKDLN *慢性腎臓病療養指導看護師(旧 透析療法指導看護師)

Chronic Kidney Disease Leading Nurse

都道府県名	正会員数	CKDLN	都道府県名	正会員数	CKDLN
北海道	165	50	滋賀県	54	21
青森県	28	11	京都府	82	29
岩手県	37	7	大阪府	230	78
宮城県	51	9	兵庫県	131	36
秋田県	29	10	奈良県	55	14
山形県	34	14	和歌山県	19	5
福島県	25	3	鳥取県	37	8
茨城県	61	15	島根県	18	2
栃木県	55	9	岡山県	67	17
群馬県	33	6	広島県	108	42
埼玉県	175	42	山口県	43	12
千葉県	189	51	徳島県	21	9
東京都	297	88	香川県	39	15
神奈川県	267	65	愛媛県	61	24
新潟県	33	6	高知県	29	9
富山県	54	18	福岡県	208	69
石川県	44	15	佐賀県	29	5
福井県	31	7	長崎県	49	16
山梨県	32	11	熊本県	61	18
長野県	61	21	大分県	30	7
岐阜県	60	15	宮崎県	21	6
静岡県	71	17	鹿児島県	37	10
愛知県	372	111	沖縄県	29	7
三重県	37	15	住所不明	48	2
合計		会員・CKDLN		3747	1077

第19回までのCKDLN試験合格者累計:2189名

※CKDLN在籍者数

賛助会員 37

個人	0
法人	37

男女比	女性 91.0%	男性 9.0%
看護資格	看護師 99.1%	准看護師 0.9%

日本腎不全看護学会 会員状況・年会費入金状況

2023年8月末現在

正会員数 3,747名

CKDLN人数 1,077名

2021年度年会費	入金	3,258名	86.9%
-----------	----	--------	-------

2022年度年会費	入金	3,239名	86.4%
-----------	----	--------	-------

2022年8月末現在

正会員数 3,785名

CKDLN人数 1,110名

2020年度年会費	入金	3,299名	87.2%
-----------	----	--------	-------

2021年度年会費	入金	3,298名	87.1%
-----------	----	--------	-------

2022 年度事業報告

執行役員会

理事長：松木理浩

事業内容	事業実施事項
<p>1. 本学会の安定稼働 (本学会が安定して、運営できるように理事会及び執行役員会を開催し、課題の整理、検討を行う)</p>	<p>1. 第 4 期理事会および執行役員会開催</p> <p>1) 理事会の開催 委員会活動、学会運営の意見交換、検討を行った。開催についてはすべてリモート開催（Zoom による開催）。</p> <p>第 6 回理事会 2023 年 1 月 28 日（土）13:00～15:35 第 7 回理事会 2023 年 5 月 20 日（土）13:00～14:40 第 8 回理事会 2023 年 7 月 29 日（土）13:00～15:20 第 9 回理事会 2023 年 10 月 14 日（土）13:00～16:00（予定） 第 10 回理事会 2023 年 11 月 11 日（土）13:00～16:00（予定）</p> <p>2) 執行役員会の開催 理事会の開催にあたり、各委員会の議案に対して事前確認と整理を行った。</p> <p>第 6 回執行役員会 2023 年 1 月 14 日（金）13:00～15:28 第 7 回執行役員会 2023 年 5 月 12 日（金）13:00～15:15 第 8 回執行役員会 2023 年 7 月 14 日（金）13:00～15:05 第 9 回執行役員会 2023 年 9 月 29 日（金）15:00～18:00（予定） 第 10 回執行役員会 2023 年 11 月 10 日（金）13:00～予定</p>
<p>2. 次期理事の選出がスムーズに行われる。</p>	<p>第 5 期理事候補者選挙実施に向けて、選挙管理委員会を立ち上げ、平松選挙管理委員長を選出し、委員を選出した。投票期間 2023 年 6 月 28 日～7 月 11 日までの期間に SOLTI にて投票を行った。結果、理事の定数 19 名が選出された。結果については、社員総会にて発表の予定。</p>
<p>3. 会員のための利益が担保される。</p>	<p>必要性のある書籍の発行（透析ケアガイドの発刊） 学会誌のアクセスを簡易化するために年 2 回発行していた学会誌を完全電子ジャーナル化した。会員情報システム（SOLTI）から看護系論文データベースについてアクセスできるようになり、他学会誌とともに看護系論文の情報収集が容易になった。</p> <p>情報の共有システムの確立（SOLTI の使用についての見直しなど）について、検討したが個人情報の取り扱いの問題もあり、決定に至らず、今後も検討を継続していくこととなった。</p> <p>透析アクセスガイドの発刊については、校正から製本の過程が医学書院の都合で遅れているため、3 月発刊が現在調整中。（コロナ禍の影響で作業が遅延したため）</p>

4. その他	<p>委員会編成について</p> <p>会員に、より迅速な対応、適切な対応ができるように現在の委員会編成を検討するために、委員会編成について担当委員長（副）で話し合いの場を設けた。今後も継続していく。</p>
--------	--

2022 年度事業報告

編集委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 学会誌発行(完全オンライン化)	<p>(1) 2023 年 4 月 第 25 卷 1 号オンライン発刊 2023 年 1 月 掲載原稿決定 2023 年 2 月 最終原稿受理 2023 年 3 月 校正</p> <p>(2) 2023 年 10 月 第 25 卷 2 号オンライン発刊予定 2023 年 7 月 掲載原稿決定 2023 年 8 月 最終稿入稿 2023 年 10 月 校正 2023 年 10 月末発刊予定</p>
2. 査読セミナーの開催	<p>2023 年 9 月 10 日(日)に zoom にて開催 約 60 名参加</p> <p>セッション1 リアルタイム査読 質的研究 編集委員 服部智子 量的研究 編集委員 濱田昌実</p> <p>セッション2 研究デザインによる査読のポイント 事例研究 編集委員 田中順也 質的研究 編集委員 武田貴美子 量的研究 編集委員 桐明あゆみ 文献研究 編集委員長 小坂志保</p>
3. 投稿規定の改定	<p>2023 年 2 月末時点で投稿規定の改定を行い、ホームページに掲載</p>
4. 事業運営のための委員会開催	<p>(1) 2022 年 11 月 15 日 Web 開催 (2) 2022 年 12 月 8 日 Web 開催 (3) 2023 年 1 月 13 日 Web 開催 (4) 2023 年 2 月 13 日 Web 開催 (5) 2023 年 3 月 6 日 Web 開催 (6) 2023 年 4 月 12 日 Web 開催 (7) 2023 年 5 月 14 日 Web 開催 (8) 2023 年 8 月 28 日 Web 開催</p>

2022 年度事業報告

教育委員会

委員長：鳥居芳行

事業内容	事業実施事項
<p>1. 治療選択特別研修</p>	<p>すべて WEB 開催</p> <p>2022 年 8 月 21 日（日） 講座 D：参加人数 112 名 講座 E：参加人数 119 名</p> <p>2022 年 9 月 11 日（日） 講座 B：参加人数 125 名 講座 F：参加人数 155 名</p> <p>2022 年 10 月 30 日（日） 講座 A：参加人数 175 名 講座 C：参加人数 160 名</p> <p>2023 年 2 月 26 日（日） 講座 A：参加人数 66 名 講座 D：参加人数 76 名</p> <p>2023 年 3 月 19 日（日） 講座 B：参加人数：92 名 講座 C：参加人数：85 名</p> <p>2023 年 4 月 9 日（日） 講座 E：参加人数：151 名 講座 F：参加人数：145 名</p> <p>※ 各講座のテーマ</p> <p>講座 A：「血液透析・腹膜透析・腎移植の治療選択に関わる意思決定支援」</p> <p>講座 B：「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援の概要 エンドオブライフケア、フレイル、アドバンスケアプランニング」</p> <p>講座 C：「治療選択に関わる多職種協働・専門職連携のあり方」</p> <p>講座 D：「治療選択における高齢者ケア、認知症ケア、家族ケアのあり方」</p> <p>講座 E：「治療選択に必要なメンタルヘルスとコーチング」</p> <p>講座 F：「治療選択の意思決定支援における事例のまとめ方と研究の取り組み」</p>
<p>2. 第 25 回 JANN 学術集会併設基礎教育セミナー</p>	<p>2022 年 10 月 15 日（土）17：00～18：00 ハイフレックス開催</p> <p>【テーマ】フットケア・ハンズオン</p> <p>講師：安藤 恭代先生 医療法人朝霧会じんの内医院 座長：三村洋美先生 昭和大学</p>

<p>3. 透析看護入門研修</p>	<p>現地参加者（事前登録参加者を含む）：90名、Web登録参加者：30名</p> <p>2022年11月13日（日）WEB開催</p> <p>講義①【透析医から透析ナースへのお願い～透析患者さんの診かた～】 講師：堀川 和裕 先生 医療法人借翔会 理事長</p> <p>講義②【覚えておきたい透析技術～臨床工学技士が伝えたいこと～】 講師：服部 達也 先生 医療法人借行会 臨床工学技士</p> <p>参加者：20名</p>
<p>4. トピックス研修</p>	<p>2023年6月4日（日）WEB開催</p> <p>「保存的腎臓療法（CKM）の意義 — 臨床倫理の視点から」 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座 特任教授 会田 薫子 先生</p> <p>「腎不全看護における臨床倫理 — 困難事例 SDM 実現のコアとなる考え方 —」 日本赤十字九州国際看護大学看護学部 中村 光江 先生</p>
<p>5. 第26回 JANN 学術集会併設基礎教育セミナー</p>	<p>2023年11月19日（日）現地開催</p> <p>『CKD トータルケアとしての腎移植—腎移植ケアガイドの活用方法—』 講師：小坂 志保 先生 （東邦大学看護学部）</p> <p>『「腎移植」は特別じゃない！知らないと患者さんは損してる』 講師：河野 恵 先生 （奈良県立医科大学附属病院） 座長：鳥居 芳行（日本腎不全看護学会教育委員長 / （医）光寿会 法人本部）</p>
<p>6. 治療選択特別研修テキスト見直し作業</p>	<p>現在見直し作業中</p>

2022 年度事業報告

研究委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 研究委員会倫理審査部 研究倫理審査受付窓口開設	1. JANN での臨床研究推進のために、施設単位の倫理審査委員会が設置されていない会員の研究の倫理審査を実施すべく、研究委員会倫理審査部を 2021 年度に設立した。2023 年 2 月 27 日より日本腎不全看護学会ホームページ上に「研究倫理審査」のタブを立ち上げ、研究倫理審査受付窓口を開設した。
2. 研究倫理セミナーの開催	2. 2023 年 9 月 3 日に第 2 回研究倫理セミナーを開催した。参加者は 130 名を上回り、事例研究についての研究的作法、臨床現場から事例研究を実走する方法に加え、質的研究・量的研究の倫理審査の視点について解説した。
3. 2022 年度看保連研究助成申請	3. 一般社団法人 看護系学会等社会保険連合(看保連)2022 年度研究助成申請を行った。申請テーマは「高齢腎不全患者における保存的腎臓療法を選択を含む治療法的意思決定支援の実態」としたが、今回は不採用であった。
4. 事業推進のための委員会開催	4. 事業推進のための委員会開催 第 1 回 2022 年 12 月 12 日 web 会議 第 2 回 2023 年 1 月 5 日 web 会議 第 3 回 2023 年 4 月 10 日 web 会議 第 4 回 2023 年 6 月 20 日 web 会議 第 5 回 2023 年 8 月 22 日 web 会議

2022 年度事業報告

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

事業内容	事業実施事項
1. 研究助成事業	<p>(1) 看護研究助成公募：2022 年 10 月 1 日～2023 年 2 月 28 日</p> <p>(2) 応募者の申請内容の審査および助成の決定、交付 ・総応募数 0 件</p>
2. 研究助成結果報告の確認	<p>(1) 過去の研究助成結果報告の確認の実施</p> <p>1 名の収支決算報告書の提出を確認（研究期間延長届を受理）</p> <p>1 名の看護研究助成実績報告書の提出を確認</p> <p><u>1 名の看護研究助成実績報告書の学会誌掲載予定（25 号 2 巻）</u></p> <p>1 名の JANN 学会誌の投稿・掲載を確認（24 号 2 巻）</p> <p>1 名の ANNS 学術集会（2022 年）発表を確認</p> <p><u>1 名の看護研究助成実績報告書の学会誌掲載を確認（25 号 1 巻）</u></p> <p style="text-align: center;">（下線の助成者に対し実績報告書の修正を支援した）</p>
3. 助成者への支援：看護研究助成実績報告書の学会誌掲載にむけて	<p>(1) 助成開始から 4 年以上経過し、JANN 学会誌又は他学会誌の投稿・掲載を完結していない助成者 5 名に対し、看護研究助成実績報告書の学会誌掲載に向けて、学会誌投稿規程の「3. 倫理的配慮」「8. 原稿執筆の要領」に則り、報告書の修正を支援した。</p> <p>(2) 2022 年度（25 号）に 2 名の助成者の看護研究助成実績報告書の掲載に至った（内 1 名は 25 号 2 巻に掲載予定）。しかし、2 名の助成者については、複数回のやりとりを行うが、研究終了から長期間経過していることもあり、看護研究助成実績報告書の修正は困難であった。</p> <p>(3) 修正困難な助成者の発生を受けて、以下が理事会で承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会発表が済んでいる場合には、発表演題名・施設名・助成期間等のみを学会誌へ掲載する。 ・看護研究助成実績報告書の学会誌掲載に向けて、委員会と助成者とのメールによる修正依頼のやり取りは、原則 2 回までとする。 <p>(4) 修正困難の 2 名の助成者については、学術集会の発表内容の掲載にむけて、準備を進めている。</p>
4. 研究助成報告の明確化	<p>(1) 看護研究助成審査委員会 フローチャートの改定</p> <p>3 の対応に伴い、研究助成の工程表を改定し、「助成者との修正依頼のやりとりを原則 2 回までとし、掲載基準を満たさない場合には、演題名・施設名・助成期間等のみを学会誌へ掲載する」を追記した。</p>

2022 年度事業報告

広報委員会

委員長：今西伸子

事業内容	事業実施事項
1. メールニュース配信	<p>No.5 2022年12月19日配信</p> <p>No.6 2023年3月10日配信</p> <p>No.7 2023年6月13日配信</p> <p>号外 2023年5月1日(第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会)</p>
2. メールニュースの運用規約	<p>メールニュースの目的、配信月、内容、掲載の制限を定め、設定し、2022年10月22日より適用とした。</p>
3. Facebook 投稿	<p>関連学会やセミナーなどのお知らせ、日本腎不全看護学会学術集会の会場の様子など、2022年1月～2023年8月までに計35回配信した。</p>
4. LINE 公式アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年10月より、公式アカウント「お友だち」を募集し、2022年11月～2023年8月までに30回の配信を行なった。 ・学会や、セミナーのお知らせが多い中、災害対策委員会との連携で、豪雨により、被災した透析施設の状況と、透析患者数や近隣施設への割り振りなどの報告を行なった。 ・2023年1月に公式アカウント「お友だち」の数が639名となり、無料配信では月に1000通迄の制限があり、月に1回の配信となるため2月より月5000円のライトプランに変更した。
5. ホームページの運用と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの各委員会からの修正・追加 ・関連学会からの学術集会、研修、セミナーなどの掲載 ・CKDLN 県代表者変更

2022 年度事業報告

看護政策委員会

委員長：西津規

事業内容	事業実施事項
<p>看保連会議</p>	<p>2022/9/28 「令和 4 年度 第 1 回 看護技術検討委員会・診療報酬体系のあり方に関する検討委員会 ・介護報酬体系のあり方に関する検討委員会 合同会議」 場 所：Web 会議 田村、西津出席</p> <p>2022/12/23 令和 4 年度第 1 回 看護技術検討委員会へ参加 令和 4 年度 第 1 回合同委員会 議事録の確認 今後スケジュール 令和 6 年診療報酬改定に向けた医療技術評価の提案内容の検討</p> <p>2023/1/6 看保連令和 4 年度第 1 回診療報酬体系のあり方検討委員会 令和 4 年度 第 1 回合同委員会 議事録確認 今後のスケジュール 令和 6 年度の診療報酬改定に向けた要望内容の検討</p> <p>2023/3/29 第 2 回 診療報酬体系のあり方検討委員会 令和 4 年度 第 1 回看護技術検討委員会議事録(案)の確認 令和 6 年度診療報酬改定に向けた医療技術評価の提案内容の検討</p> <p>2023/3/3 三保連合同シンポジウム参加 「日本の医療におけるデータ分析と利活用の今とこれから」</p> <p>2023/6/30 看保連 2023 年度社員総会参加</p>
<p>CKDLN のあり方ワーキンググループ会議</p>	<p>CKDLN のあり方ワーキンググループ設置</p> <p>2023/5/29 Web 会議 3 委員会（CKDLN 委員長、統計調査委員長、看護政策委員長） 、岡副理事長 ・現状調査の必要性についての共有</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート項目についての検討 <p>2023/6/27</p> <p>CKDLN のあり方ワーキンググループ Web 会議 岡副理事長、薄井庶務理事、3 委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート項目についての修正と検討 <p>2023/7/18</p> <p>CKDLN のあり方ワーキンググループ Web 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート項目についての修正と検討 ・ 鏡文についての検討と作成 ・ Google フォームの作成検討 <p>2023/8/31</p> <p>CKDLN のあり方ワーキンググループ Web 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google フォーム、アンケート項目、鏡文の最終チェック ・ JANN 事務局への確認事項チェック（費用面等） ・ 理事会メンバーへメール配信について <p>その他</p> <p>CKDLN のあり方ワーキンググループとのメールにて意見調整</p>
--	--

2022 年度事業報告

医療安全・感染対策委員会

委員長：小山貴也

事業内容	事業実施事項
1. 日本医療事故調査機構 (医療事故調査・支援センター)との協働	1) 協力学会として更新・登録手続きをおこなった 事務局：ガリレオ事務局 統括責任者：委員長 2) 2023年2月27日に日本医療安全調査機構センターよりセンター調査「C0199 個別調査部会」へ部会員2名の推薦依頼あり。篠原健太氏と坊坂桂子氏が現在調査対応中。
2. 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との協働	1) 令和4年度協力学会説明会への参加 2023年3月15日 15:00~16:30 (Web会議参加) 委員長：小山 委員：中島が参加
3. 医療安全感染対策について委員からの相談に対応する	1) 2023年2月21日非会員よりNsとCEの動脈表在化穿刺に関するご質問があり返答文を作成し対応した(2023年2月26日回答済み)
4. 事業推進のための委員会を定期的に開催する	1) 2023年1月9日(Web会議) 全員参加 5月12日(Web開催) 全員参加
5. 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」の改訂への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議へ参加：2022年11月11日 17~19時(現地：東京) ・2022年12月~2023年2月第1章及び第5章の改訂作業及び査読 ・2月20日改訂したものを提出 ・第2回会議へ参加：3月3日 17~19時(Web開催) ・3月~4月 第1章改訂作業- ・第3回会議へ参加：4月21日 17~19時(Web開催) ・5月30日までに第1章と第5章の改訂作業実施 ・6月15日：最終原稿提出 ・第4回会議へ参加：6月30日 17~19時(Web開催) ・7月7日に最終修正案を提出
6. 「透析医療事故防止のための医療安全防止マニュアル」(仮称)策定のためのワーキンググループへの委員推薦依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・日本透析医会よりWGへの参加依頼があり承諾(担当：小山) ・第1回会議へ参加：5月31日 17~19時(現地開催・東京)

2022 年度事業報告

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

事業内容	事業実施事項
1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す	<p>1) JHAT 隊員養成研修に対する広報を広報委員会と連携して実施した。</p> <p>2) 本年度は、9 月 20 日時点で、北海道と熊本での JHAT 隊員養成研修の参加があり、看護師の参加は全体の半数程度の参加があった。本年度は 2 月に関東での開催を予定している為、継続して広報を継続していく。</p> <p>3) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員については、JANN 会員登録システムにて管理予定であったが、システムの完成までは至っておらず次年度以降の継続課題とする。</p>
2) JANN 会員の JHAT 隊員の増加後の地方区分の明確化	<p>1) JHAT 隊員養成研修受講者と JHAT 隊員登録数の把握を目的で活動してきたが、これも上記同様、新規項目として JANN 会員登録システムの完成に至らなかったため今後の継続課題とする。</p>
3) 災害時の対応。情報収集を行い、透析医会や JHAT への情報提供を行う。CKDLN の組織力を用いて情報収集体制を確立する。収集した情報を会員へ還元し災害時の情報提供体制を検討する。	<p>1) 各地区の CKDLN・CN の代表者とネットワークの構築のために CKDLN 委員会や日本臨床腎臓病看護研究会 災害対策委員会と協力し、シミュレーションの実施と検討は実施できた。</p> <p>2) JANN 会員からの災害時の情報収集方法や伝達手段や経路のフロー図の案は作成できた。しかし、現在、全国各地の透析医会で「DIEMAS:緊急時透析情報共有マッピングシステム」が導入されつつあり、その中の機能として本事業と重複する内容があり現在は検討を継続中。</p>
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの作成と運用。(仮称：JANN 災害時迅速伝達システム(透析施設用))	<p>1) 事業内容 3) と同様に全国各地の透析医会で「DIEMAS:緊急時透析情報共有マッピングシステム」が導入されつつあり、その中の機能として本事業と重複する内容があり現在は検討を継続中。しかし、JANN 会員・CKDLN・CN などのネットワークや情報量などのメリットを生かした情報伝達方法の検討は継続課題とする。</p>
5) JHAT 事業への参画	<p>1) 主に JHAT 隊員養成研修や日本透析医会災害会議には、委員が参加し参画することができた。</p>
6) 事業計画推進のための委員会の開催	<p>1) コロナウイルスの蔓延により、委員が全員参加できる会議の開催が困難であったため、少数グループでの情報交換し事業を遂行した。</p>

2022 年度事業報告

国際交流委員会

委員長：平松美紀

事業内容	事業実施事項
<p>1. 海外の学会について情報を発信する</p> <p>2. 海外の看護活動に参加し、相互に協力をする</p> <p>3. 次期 ANNS 開催に向けて、開催国のサポートを行う</p>	<p>ISPD（国際腹膜透析学会）リエゾンナース委員会主催のオンラインセミナーが開催され、JANN のホームページ上でアナウンスを行った。</p> <p>ISPD のウェブサイト内の質問コーナーに対する相談についてその都度応じるようにしたが、回答はリエゾンナース委員会内で検討し対処された。</p> <p>1) 2022 年 10 月の ANNS 名古屋大会においては、海外 7 か国の演者によるシンポジウム、交流集会をオンラインで実施した。</p> <p>2) ANNS 大会終了後に Zoom meeting を実施し、シンガポール、タイの代表が参加した。次回開催国の承諾を得るまで、度々メールで交渉を行った。最終的に次回開催国として中国より承諾を得た。</p> <p>3) 各国の連絡網等を整理し、次回 ANNS 大会開催に向けた準備について引継ぎを行った。</p> <p>4) 次期開催国の日時、準備状況については連絡待ちの状態である。</p>

2022 年度事業報告

倫理委員会

委員長：新田靖之

事業内容	事業実施事項
<p>1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す</p> <p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う</p> <p>3. 事業推進の為に委員会開催</p>	<p>1. 報告事項無し</p> <p>2. 1) 2022 年 10 月開催の第 25 回日本腎不全看護学会学術集会において、交流集会を企画・運営 交流集会 2（日本腎不全看護学会 倫理委員会企画） 「こんなところに倫理？」現場で感じるモヤモヤについて考えてみよう！～身近な倫理的課題の発見と共有を目指して～</p> <p>2) 2023 年 11 月開催の第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会において、交流集会を企画・運営予定（報告作成時点） 交流集会 1（日本腎不全看護学会 倫理委員会企画） 「こんなところに倫理？」現場で感じるモヤモヤについて考えてみよう！～身近な倫理的課題の発見と共有を目指して～</p> <p>3) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直しは行えておらず次年度へ持ち越す</p> <p>3. オンラインで会議・打ち合わせを開催（その他メール伝達） 委員会活動、交流集会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年 9 月 19 日 Zoom 委員 4 名参加 ・ 2022 年 9 月 25 日 Zoom 委員 3 名参加 ・ 2022 年 10 月 4 日、12 日 Zoom 委員 5 名参加 ・ 2023 年 6 月 17 日 委員 3 名参加 ・ 2023 年 7 月 21 日 委員 2 名参加

2022 年度事業報告

統計調査委員会

委員長：福島亮

事業内容	事業実施事項
<p>・CKDLN 登録者数と所属施設、腎代替療法専門指導士の登録者数の調査</p> <p>・CKDLN 登録者・更新者の現況と、診療報酬算定の現況調査ワーキンググループの発足</p>	<p>・看護政策委員会から CKDLN が腎代替療法専門指導士を取得している数と、療法選択に携わる施設についての調査依頼があり、JANN の CKDLN 名簿から所属施設の割合を調査した。</p> <p>JANN の名簿では、同施設に複数の CKDLN が所属している事、施設での CKDLN の配属部署、療法選択に携わる施設かどうか不明であった。</p> <p>・上記の調査結果を基に、看護政策委員会、CKDLN 委員会、統計調査委員会の合同ワーキンググループを発足し、CKDLN の現況と診療報酬算定の現況についての調査を開始した。</p> <p>・定期的にミーティングを開催し、調査目的、調査内容、調査方法を検討しアンケートを作成した。</p>

2022 年度事業報告

認定委員会

委員長：中村雅美

事業内容	事業実施事項
1. CKDLN 認定審査事業	<p>1) 第 20 回 CKDLN 認定審査 COVID-19 特別措置終了後初の通常体制にて、CKDLN 認定事業を実施し、85 名から申請があった。</p> <p>(1) 受験資格審査の実施 (2) 筆記試験の実施 (2023 年 5 月 28 日、CBT 方式) 受験資格審査合格者および昨年度からの受験延期者などを含め、87 名が筆記試験を受験し、86 名が合格した。 ※CBT: computer based testing</p> <p>2) 認定証の発行 3) 筆記試験問題作成会議の実施 4) 認定審査に関わる各種要項の作成</p>
2. CKDLN 更新審査事業	<p>COVID-19 特別措置終了後初の通常体制にて、CKDLN 更新事業を実施した。</p> <p>1) 第 15 回 CKDLN 更新審査 更新申請者は 70 名で、審査の結果、67 名を承認とした。</p> <p>2) 第 10 回 CKDLN 再更新審査 再更新申請者は 50 名で、審査の結果、50 名を承認とした。</p> <p>3) 第 5 回 CKDLN 再々更新審査 再々更新申請者は 51 名で、審査の結果、51 名を承認とした。</p> <p>4) 認定証の発行 5) 有資格者および更新審査に関わる各種要項の作成</p>
3. 支援事業	<p>1) 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会 「CKD 看護を実践しよう！事例報告のまとめ方 part4」をテーマに、交流集会を開催（オンデマンド配信あり）した。</p> <p>2) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会 「慢性腎臓病療養指導看護師 (CKDLN) のための事例報告の書き方 個別相談会」をテーマした交流集会を企画、応募し、採択された。</p> <p>3) HP の CKDLN に関する Q&A の更新</p> <p>4) 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会・総会において、CKDLN 委員会と合同で、CKDLN 相談コーナーを開設した。認定委員会のブースには 19 名の来場があり、更新方法や事例報告の書き方などについての質問に回答した。</p> <p>5) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における CKDLN 相談コーナー CKDLN に関わる問い合わせに対応するため、第 26 回日本腎不全看護</p>

<p>4. 認定ポイント対象研修事業</p> <p>5. 事業運営のための委員会開催</p>	<p>学会学術集会・総会において CKDLN 相談コーナーを企画し、設置に向けた準備を行った。</p> <p>1) 申請に対する審査 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修の申請に対し、随時審査を実施した。</p> <p>2) 認定ポイント対象研修に関わる要項の作成</p> <p><第4回：2022年10月9日 Zoom></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画および年間スケジュールの確認 ・認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修の要項の検討 ・事例報告の課題に関する検討 <p><第5回：2023年3月11日 Zoom></p> <p>※第20回 CKDLN 認定審査受験資格審査判定会議を兼ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDLN 再認定審査の実施 ・認定ポイントに関する検討 <p><第6回：2023年6月24日 Zoom></p> <p>※CKDLN 更新事業判定会議を兼ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDLN 筆記試験の開催形態について ・事例報告の書き方および事例報告確認シートの評価 ・更新事業における資格要件（社会的教育的活動報告）についての検討 ・認定ポイント対象研修事業における時間区分および開催形態について ・再認定審査に関する検討 <p><第7回：2023年8月26日 Zoom></p> <p>※CKDLN 更新事業判定会議を兼ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDLN 更新延長審査の実施 ・事例報告の書き方および事例報告確認シートの評価 ・次年度の活動計画
--	---

2022 年度事業報告

CKDLN 委員会

委員長：後藤浩也

事業内容	事業実施事項
<p>CKDLN のネットワーク作りと知識向学のための CKDLN セミナーを開催する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえてリモートによる開催を11月、3月、6月を軸に開催する。(感染の状況をふまえてリモート以外での招集も検討する) 2. CKDLN セミナーの進捗状況、理事会についての報告等 CKDLN 委員会を Web で7回おこなった。 3. 各 CKDLN 地区セミナーについては地区ごとに都道府県代表者が Web 等を用いてセミナー運営をおこなった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年 9 月関東地区セミナーを開催 ・ 3 月第 5 回 CKDLN 都道府県代表者会議・セミナーを開催 ・ 4 月東海地区セミナーを開催 ・ 7 月北海道地区セミナーを開催 ・ 8 月甲信越地区セミナーを開催 ・ 8 月関東地区セミナーを開催 4. 来期の地区セミナー予定について <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月九州 CKD 看護研究会開催 ・ 12 月中国四国地区セミナー (コロナ禍後初の現地開催) ・ 3 月北陸地区セミナー・5 月東海地区セミナー ・ 7 月北海道地区セミナー・7 月甲信越地区セミナー ・ 8 月関東地区セミナー <p>以降は 24 年度計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月九州 CKD 看護研究会・10 月近畿地区セミナー ・ 11 月東北地区セミナー・12 月中国四国地区セミナー <p>全国各地区でのセミナーを開催する予定</p> 5. 第 5 回 CKDLN 都道府県代表者会議・セミナーを開催 北陸地区が担当し代表者を対象に Web を用いて会議以外に CKDLN 委員による講演会と代表者同士のワークショップをおこなった 6. セミナー規定及び手順 CKDLN の3つのセミナー(事例検討会、地区、九州 CKD 看護研究会)の規定が 2019 年 6 月に第 1 回都道府県代表者会議において骨子が資料として代表者に配布された。しかし規定として明確なものがないことから作成。また、地区セミナー Web についての手順を作成。 規定と手順は CKDLN 地区委員には配布している 7. 都道府県代表者に各都道府県の CKDLN 名簿を開示 都道府県代表者と CKDLN 取得者との連携、都道府県単位の活動の円滑化を推進する目的でデータを開示。(個人情報の取扱いに留意するように遵守は必須) 8. CKDLN 自身の活動について SNS 等を用いて発信する事業

	<p>都道府県代表者のグループラインを作成。(地区委員も含む) CKDLN 共通のトピックスや情報共有などの配信をおこない CKDLN 委員会と都道府県代表者との連携強化に努めていく</p>
各委員会と連携を図る	<p>9. CKDLN のファシリテータ講習会 実施できなかった。地区セミナー時のグループワークでファシリテータの役割は大きい。来年度以降委員会として検討していく</p>
その他の活動	<p>1. 災害対策委員会および JHAT と災害発生時の連携強化を図っていく 幸いにも CKDLN 委員会への情報収集要請はなかった。しかし災害に備え災害対策委員会および JHAT とも連携を継続していく</p> <p>2. 感染対策委員会と連携を図っていく コロナが 5 類となっても感染は収束していない。引き続き、感染対策委員会とも連携を図っていく</p> <p>1. CKDLN 規程作成 慢性腎臓病療養指導看護師規程を作成。現在内容を修正中</p> <p>2. CKDLN 企画 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会で CKDLN 委員会企画の依頼を受け、ワークショップで CKDLN 愛～繋ぐ絆～をテーマに企画中</p>

2022 年度事業報告

CKD 委員会

委員長：中村雅美

事業内容	事業実施事項
<p>1. 知見集積事業（透析）</p>	<p>昨年度に引き続き、「透析患者の健康寿命の延伸」をテーマにした知見集積をめざして、事業をすすめた。調査結果を踏まえた透析患者の健康寿命の延伸に関するスコーピングレビューは、日本腎不全看護学会誌等での公表を予定している。</p> <p><第1回：2023年2月8日 Zoom></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知見集積方法と公表方法について検討した。 <p><第2回：2023年4月26日 Zoom></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き知見集積方法と公表方法について検討し、「透析患者の健康寿命の延伸」に関するスコーピングレビューを行うことになった。 <p><第3回：2023年6月15日 Zoom></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献検索の結果、健康寿命をアウトカム指標にした介入研究がなかったため、今後の進め方について検討し、エキスパートオピニオンを募ることになった <p><第4回：2023年6月20日～8月29日 メール審議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本腎不全看護学会社員および CKDLN 委員を対象とした調査内容（エキスパートオピニオン）について議論し、調査項目を設定した。

第25回日本腎不全看護学会学術集会/第7回アジア腎不全看護シンポジウム 収支決算書

項目	単価	数量	金額(円)	按分比率		按分金額(円)		項目	金額(円)	按分金額(円)	
				JANN	ANNS	25JANN	7ANNS			25JANN	7ANNS
1. 参加費		1,928名	24,596,000	JANN	ANNS	JANN	ANNS		11,066,877		10,038,978
学術集会参加費 会員(前期)	12,000	1,162名	13,944,000	85%	15%	11,852,400	2,775,200	1. 事前準備費	2,171,400	1,845,690	325,710
学術集会参加費 会員(後期)	14,000	236名	3,304,000	85%	15%	2,808,400	495,600	(1) 事務局人件費	3,363,047	3,363,047	0
学術集会参加費 非会員(前期)	14,000	280名	3,920,000	100%	0%	3,920,000	0	(2) 登録関係費	4,554,442	3,874,851	679,591
学術集会参加費 非会員(後期)	17,000	163名	2,771,000	100%	0%	2,771,000	0	(3) 印刷・制作費	99,060	99,060	0
学術集会参加費 非会員(看護職を除く)前期	8,000	17名	136,000	100%	0%	136,000	0	(4) 旅費交通費	210,104	210,104	0
学術集会参加費 非会員(看護職を除く)後期	10,000	27名	270,000	100%	0%	270,000	0	(5) 会議費	668,824	646,224	22,600
学術集会参加費 海外(前期)	8,000	16名	128,000	0%	100%	0	128,000	(6) 通信・運搬費	0	0	0
学術集会参加費 海外(後期)	10,000	6名	60,000	0%	100%	0	60,000	(7) 消耗品費	0	0	0
学術集会参加費 学生(前期・後期)	3,000	21名	63,000	100%	0%	63,000	0	2. 当日運営費	20,742,068	18,394,533	2,347,535
2. 懇親会費			0			0	0	(1) 会場費	3,627,650	3,397,720	229,930
懇親会会費	5,000	0名	0	-	-	0	0	(2) 機材費	9,684,796	8,428,662	1,256,134
3. 主催団体補助金			500,000			500,000	0	(3) 看板装飾会場設置費	1,012,000	1,012,000	0
開催補助金		1式	500,000	100%	0%	500,000	0	(4) 展示会場関係費	1,276,000	1,084,600	191,400
4. 共催セミナー収入			6,710,000			5,630,000	880,000	(5) 運営人件費	3,494,700	2,991,720	502,980
ランチョンセミナー 大	1,100,000	3企画	3,300,000	100%	0%	3,300,000	0	(6) 招請関係費	1,036,966	1,006,716	30,249
ランチョンセミナー 小	880,000	2企画	1,760,000	100%	0%	1,760,000	0	(7) 会合・飲食費	354,756	316,195	38,561
ランチョンセミナー 小(第4会場)	880,000	1企画	880,000	0%	100%	0	880,000	(8) 運営諸経費	255,200	216,920	38,280
スイーツセミナー	770,000	1企画	770,000	100%	0%	770,000	0	3. WEB関係費	4,145,900	3,581,765	564,135
5. 展示出展料			3,311,000			2,814,350	496,650	(1) システム関係費	3,941,300	3,407,855	533,445
機器展示(基礎小間)	165,000	20小間	3,300,000	85%	15%	2,805,000	495,000	(2) 運営人件費	204,600	173,910	30,690
書籍展示		1社	11,000	85%	15%	9,350	1,650	4. 事後処理費	556,310	473,050	83,260
6. 広告料			1,937,000			1,715,750	221,250	5. 業務委託費	3,148,365	2,676,110	472,255
抄録集広告 表4(裏表紙) カラー1ページ	220,000	0社	0	85%	15%	0	0				
抄録集広告 表3(裏表紙の裏) カラー1ページ	165,000	1社	165,000	85%	15%	140,250	24,750				
抄録集広告 表2(表紙の裏) カラー1ページ	165,000	1社	165,000	85%	15%	140,250	24,750				
抄録集広告 後付 カラー	132,000	0社	0	85%	15%	0	0				
抄録集広告 後付 モノクロ1ページ	88,000	5社	440,000	85%	15%	374,000	66,000				
抄録集広告 後付 モノクロ1/2ページ	55,000	7社	385,000	85%	15%	327,250	57,750				
バナー広告	110,000	2社	220,000	85%	15%	187,000	33,000				
バナー広告	100,000	1社	100,000	85%	15%	85,000	15,000				
ライブ配信広告 1日タイプ	154,000	3社	462,000	100%	0%	462,000	0				
7. 寄付金			3,900,000			3,786,000	114,000				
その他企業・団体		一式	2,840,000	100%	0%	2,840,000	0				
企業寄付		一式	60,000	85%	15%	51,000	9,000				
助成金		一式	300,000	100%	0%	300,000	0				
助成金		一式	700,000	85%	15%	595,000	105,000				
8. 雑収入			260,170			238,845	21,326				
受取利息		一式	70	85%	15%	60	11				
抄録集販売	2,000	24冊	48,000	85%	15%	40,800	7,200				
総会会場使用料		一式	118,000	100%	0%	118,000	0				
会議室使用料		一式	54,100	85%	15%	45,985	8,115				
その他		一式	40,000	85%	15%	34,000	6,000				
合計			41,214,170			36,705,745	4,508,426				
								小計	39,659,519	¥35,164,434	¥4,495,085
								取入金(日本腎不全看護学会)	500,000	¥-500,000	¥0
								予備費	1,054,651	¥1,041,311	¥13,340
								合計	41,214,170	¥35,705,745	¥4,508,426

支出の部

収入の部

第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会
収支予算

2023年11月18日(土)・19日(日)

2023年10月10日

(単位：円、消費税は10%)

収入の部		予算額	支出の部		予算額
科目		金額	科目		金額
I. 参加登録費収入			I. 会議準備費		¥9,579,469
1) 前期登録			①運営事務処理費		
会員(抄録集付き)	¥10,000 767名 ¥7,670,000		1.事務局員固定人件費	¥1,265,000	
非会員(抄録集付き)	¥13,000 328名 ¥4,264,000		2.事前委員会対応費(実行委員会・プログラム委員会等)	¥419,980	
学生(抄録集付き)	—		3.事前参加登録処理経費	¥1,848,968	
2) 後期登録			4.演題処理経費	¥863,610	
会員(抄録集付き)	¥12,000 205名 ¥2,460,000		5.企業・団体関係処理経費	¥417,450	
非会員(抄録集付き)	¥15,000 196名 ¥2,940,000		6.広報・PR関係経費	¥61,920	
学生(抄録集付き)	¥3,000 4名 ¥12,000		7.総務・企画構成費	¥364,210	
II. 懇親会参加費収入		¥0	②旅費・交通費		¥0
1) 参加者懇親会			1.準備宿泊費	¥212,461	
事前登録(会員・非会員)	¥4,000 0名 ¥0		2.準備交通費	¥0	
当日登録(会員・非会員)	¥4,000 0名 ¥0		③庁費		
役員懇親会 ※実施予定無し	—		1.印刷費	¥2,681,916	
III. プログラム・抄録集売上収入(別途購入)		¥20,000	2.制作物関係費	¥587,400	
事前販売(送料含む)			3.備品・消耗品費	¥68,200	
当日販売	¥2,500 0冊 ¥0		4.通信費・運搬費	¥778,345	
	¥2,000 10冊 ¥20,000		5.会議費	¥10,010	
IV. 広告料収入		¥803,000	II. 当日運営費		¥17,739,616
1) プログラム・抄録集			①人件費		
表4(裏表紙・カラー)	¥165,000 0件 ¥0		1.当日企画構成費	¥446,930	
表2(裏表紙・カラー)	¥143,000 0件 ¥0		2.当日運営人件費	¥1,817,700	
表3(裏表紙裏・カラー)	¥132,000 0件 ¥0		3.会議スタッフ人件費(弊社手配アルバイト)	¥365,334	
後付1頁(モノクロ)	¥88,000 6件 ¥528,000		4.その他人件費	¥1,363,080	
後付1/2頁(モノクロ)	¥110,000 3件 ¥330,000		②旅費・交通費		
2) ホームページ/バナー	¥110,000 1件 ¥110,000		1.招待者宿泊費：ホテルラフィオ(平均料金)	¥68,838	
3) コンタクト/バック	¥165,000 0件 ¥0		2.招待者交通費(参考料金)	¥186,411	
V. 展示出展料収入		¥3,113,000	③庁費		
1) 企業展示			1.謝金	¥467,754	
アタミ7展示	¥143,000 21件 ¥3,003,000		2.印刷費	¥78,760	
アタミ7展示	¥110,000 1件 ¥110,000		3.備品・消耗品費	¥822,619	
2) 書籍展示	¥22,000 0件 ¥0		4.通信費・運搬費	¥165,000	
VI. セミナー共催料収入		¥5,500,000	5.損料・信料	¥11,727,950	
1) ランポンセミナー			6.会議費	¥229,240	
500席	¥1,100,000 1件 ¥1,100,000		III. 事後処理費		
144・150席	¥880,000 4件 ¥3,520,000		①人件費		
2) スイーツセミナー			1.人件費	¥49,500	
144・150席	¥880,000 1件 ¥880,000		2.企画構成費	¥44,000	
VII. 補助金		¥500,000	②庁費		
学会本部補助金			1.印刷費	¥29,700	
	¥500,000 1件 ¥500,000		2.通信・運搬費	¥13,950	
VIII. 助成金・寄附金収入		¥1,716,000	3.会議費	¥0	
仙台コンベンション開催助成制度		¥660,000	IV. 営業管理費		
企業・同門会等寄附金		¥500,000	V. 返納金(日本腎不全看護学会)		
公益財団法人日本腎臓財団(経由寄附金)		¥556,000	VI. 予備費		
IX. 受取利息		¥100			
X. 雑収入		¥0			
収入の部 合計		28,998,100	支出の部 合計		28,998,100

第1号議案 2022年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

2022年度（2022年9月1日から2023年8月31日まで）における当学会の各種計算書類は下記のとおりであるので、その承認を求める。
あわせて、監査報告を行う。

2022年度収支報告書〈一般会計〉

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

収入の部		(単位:円)	
項目	2022年度予算	2022年度決算	備考(内訳)
年会費	35,800,000	36,160,000	
	1,500,000	1,610,000	(一般)過年度 161名
	33,220,000	33,410,000	(一般)当年度 3,341名
	1,080,000	1,140,000	(賛助)当年度 38口
研修費	2,880,000	1,362,000	
	840,000	0	CKDLN受験対策セミナー
	600,000	76,000	透析看護入門研修
	600,000	956,000	トピックス研修
	360,000	0	CKDLN研修
	180,000	0	査読セミナー
	300,000	330,000	研究倫理セミナー
教育セミナー参加費	2,900,000	905,000	CKDLN代表者会議、CKDLN地区セミナー
特別研修参加費	5,400,000	2,588,000	
その他収入	295,000	298,671	
雑収入	251,000	254,659	テキスト印刷、WEB文献使用料、査読掲載料、地方会申請料
受取利息	0	12	預金利息
受取手数料	44,000	44,000	学会誌広告掲載料(24巻2号)
収入合計	47,275,000	41,313,671	

2022年度収支報告書〈一般会計〉

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

支出の部 I

項目	2022年度予算	2022年度決算	備考(内訳)
会議費	1,550,000	687,678	役員会6回、理事会4回、臨時社員総会1回、社員総会・会員総会1回、会計監査1回 (単位:円)
	200,000	220,905	社員総会・会員総会 (会議会場費)
	800,000	128,184	社員総会・会員総会 (交通費)
	50,000	22,940	社員総会 (通信費)
	500,000	315,649	社員総会・会員総会・理事会 (委託費、振込手数料)
委員会活動費	5,120,200	401,824	
	227,000	0	編集委員会
	270,000	0	教育委員会
	632,000	3,560	研究委員会 (委託費)
	50,000	0	看護研究助成審査委員会
	183,000	55,935	広報委員会 (通信費、消耗品費、印刷費、LINE利用料)
	172,000	0	看護政策委員会
	260,000	0	災害対策委員会
	10,000	0	医療安全・感染対策委員会
	127,000	4,230	国際交流委員会 (交通費、雑費)
	150,000	9,220	倫理委員会 (冊子購入費)
	350,000	0	統計調査委員会 (通信費、委託費)
	323,000	7,200	CKD委員会 (会議費、通信費、日当、委託費、雑費)
	86,200	121,479	認定委員会 (委託費)
	1,980,000	2,200	CKDLN委員会 (委託費)
	300,000	198,000	選挙管理委員会 (委託費)

2022年度収支報告書〈一般会計〉

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

研修費	1,309,000	810,273
	250,000	トビックス研修 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	220,000	透析看護入門研修 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	300,000	0 CKDLN受験対策セミナー (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	210,000	0 学術集会併設セミナー (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	174,000	0 CKDLN研修 査読セミナー (謝礼、委託費、雑費)
	155,000	146,420 研究倫理セミナー
教育事業費	2,876,000	1,427,892
	1,300,000	0 CKDLNセミナー会場費 (交通費・宿泊費)
	150,000	53,790 CKDLNセミナー交通費 (謝礼、委託費、印刷費、通信費、雑費)
	1,426,000	1,374,102 CKDLNセミナーその他経費
治療選択特別研修	3,080,000	1,876,101
	3,080,000	1,876,101 その他経費 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
広報費	12,600,000	11,777,512
	1,800,000	1,400,163 通信費・荷造運賃 (学会誌24巻2号発送・NL等発送代)
	600,000	483,927 ホームページ作成・管理費 (管理・更新手数料)
	700,000	490,556 印刷費 (NL、封筒)
	9,500,000	9,402,866 学会誌 (24巻2号、25巻1号)

2022年度収支報告書〈一般会計〉

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

項目	2022年度予算	2022年度決算	備考(内訳)	(単位:円)
支出の部Ⅱ				
事務局費	12,890,000	12,058,131		
	300,000	77,501	通信費 (メールサービス料金、ドメイン料金、郵便・宅配便)	
	150,000	109,340	交通費 (関連団体学術集会、講義、シンポジウム交通費)	
	100,000	9,521	消耗品費 (事務消耗品費)	
	800,000	767,800	支払報酬料 (税理士、司法書士)	
	7,790,000	7,419,745	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投稿査読管理業務)	
	730,000	748,000	関連学会年会費等 (IHAT、看保連、JANA、全腎協、JRRTA2名、関連団体学術集会参加費)	
	1,800,000	2,016,973	雑費 (クレジット決済手数料、コンビニ手数料、振込手数料、zoom・ウェビナー・vimeo契約料)	
	1,150,000	839,251	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)	
	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)	
助成金	500,000	0	看護研究助成金	
予備費	1,000,000	0		
支出合計	40,925,200	29,039,411		
収支差額	6,349,800	12,274,260		
正味財産前期繰越	45,485,303	45,485,303		
正味財産次期繰越	51,835,103	57,759,563		

貸借対照表

【一般会計】 2023年8月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	4,936,582
銀行預金	60,180,658	未払法人税	70,000
貯蔵品	396,096	未払消費税	263,700
未収入金	921,000	前受金	544,000
仮払金	0	預り金	21,438
前払費用	3,850	仮受金	5,500
立替金【認定】	1,599,179	負債合計	5,841,220
立替金【学術】	500,000	正味財産	57,759,563
		(うち当期正味財産増減額)	(12,274,260)
合計	63,600,783	合計	63,600,783

財産目録

【一般会計】 2023年8月31日現在 (単位:円)

科目	内容	金額
資産の部	手持現金	0
	三菱UFJ銀行 横浜支店 普通預金	57,526,594
	みずほ銀行 駒込支店 普通預金	568,790
	ゆうちょ銀行 振替口座	2,085,274
	学会誌在庫	396,096
	7~8月分コンビニ・クレジット年会費入金分 他	921,000
	2023年度査読セミナー費用	3,850
	認定制度特別会計の事業費 一般会計立替分(一般会計口座にて支払分)	1,599,179
	立替金【認定】	500,000
	立替金【学術】	500,000
	資産合計	63,600,783
負債の部	(2022年度分)9月以降支払経費・謝礼、JHAT・全腎協年会費、学会誌25-1制作費他	4,936,582
	法人住民税	70,000
	消費税及び地方消費税	263,700
	2023年度年会費、セミナー参加費	544,000
	謝礼源泉税預り金	21,438
	研究依頼一斉メール取り下げによる配信費用返金	5,500
	負債合計	5,841,220
	差引正味財産	57,759,563

2022年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

(単位:円)

収入の部

項目	2022年度予算	2022年度決算	備考(内訳)
受験料	2,400,000	2,640,000	第20回認定試験受験申請 30,000円×88名
認定登録料	680,000	860,000	(第20回受験) 10,000円×86名
更新審査料	8,100,000	3,720,000	(第10回再更新、第15回更新) 30,000円×124名
更新登録料	5,120,000	1,680,000	(第9・10回再更新、第14・15回更新) 20,000円×84名
更新審査・登録料	400,000	520,000	(第5回再々更新) 10,000円×52名
更新延長料	20,000	1,100,000	(第10回再更新、第15回更新、第5回再々更新) 20,000円×55名
再認定審査料	0	80,000	10,000円×8名
バッジ購入	0	6,500	500円×13個
雑収入	0	4,040	認定証再発行 2名
合計	16,720,000	10,610,540	

2022年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

支出の部

項目	2022年度予算	2022年度決算	備考(内訳)
認定試験・更新関連費用	2,800,000	1,716,903	
会場費	130,000	25,080	会議会場
会議費	30,000	8,798	昼食代
旅費交通費	650,000	91,300	
通信費	250,000	149,216	郵送、切手代
印刷費	10,000	0	
消耗品費	200,000	59,059	証書ファイル、賞状用紙
支払報酬料	640,000	494,000	事例報告審査報酬、問題作成報酬
委託費	880,000	880,000	CTB認定試験運営費(株)CBTソリューションズ
雑費	10,000	9,450	振込手数料
その他費用	6,730,000	4,741,781	
業務委託費	6,000,000	4,417,867	CKDLN認定業務(株)ガリレオ
通信費	30,000	0	
雑費	700,000	323,914	残高証明書発行手数料、振込手数料(クレジット決済手数料含む)
予備費	500,000	0	
支出合計	10,030,000	6,458,684	
収支差額	6,690,000	4,151,856	
正味財産前期繰越	41,511,998	41,511,998	
正味財産次期繰越	48,201,998	45,663,854	

貸借対照表

【認定制度特別会計】		2023年8月31日現在		(単位:円)
資産の部		金額	負債・正味財産の部	
科目			科目	金額
現金	0	未払金		4,593,578
銀行預金	49,916,611	前受金		0
未収入金	1,940,000	仮受金		0
前払費用	0	未払費用【一般】		1,599,179
		負債合計		6,192,757
		正味財産		45,663,854
		(うち当期正味財産増加額)		(4,151,856)
合計	51,856,611	合計		51,856,611

財産目録

【認定制度特別会計】		2023年8月31日現在		(単位:円)
科目	内容	金額		
資産の部	手持現金	0		
	みずほ銀行 横浜支店 普通預金	49,916,611		
	7～8月分クレジット登録料入金分	1,940,000		
	資産合計	51,856,611		
負債の部	更新事例審査報酬、業務委託費	4,593,578		
	一般会計立替金の未清算分	1,599,179		
	負債合計	6,192,757		
	差引正味財産	45,663,854		

収支報告書

【学術集会特別会計】

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日
(単位:円)

収入の部	項目	決算額
学術集會會費	24,596,000	
展示・広告収入	11,958,000	
寄付金収入	3,900,000	
懇親会収入	40,000	
受取利息	60	
雑収入	220,100	
収入合計	40,714,160	

支出の部	項目	決算額
会議費	435,406	
旅費交通費	278,260	
通信費	675,210	
懇親会費	123,690	
消耗品費	0	
印刷費	5,006,372	
支払手数料	28,551,801	
賃借料(会場費)	3,627,650	
租税公課	8	
支払報酬料	845,688	
雑費	116,322	
支出合計	39,660,407	
差引差額	1,053,753	
正味財産前期繰越	17,989,455	
正味財産次期繰越	19,043,208	

貸借対照表

【学術集会特別会計】 2023年8月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	仮受金	0
銀行預金	20,247,208	前受金	869,000
前渡金	165,000	未払費用【一般】	500,000
		負債合計	1,369,000
		正味財産	19,043,208
		(うち当期正味財産増源額)	(1,053,753)
合計	20,412,208	合計	20,412,208

財産目録

【学術集会特別会計】 2023年8月31日現在

(単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		
現金	手持現金	0
銀行預金	みずほ銀行 駒込支店	18,543,203
銀行預金	三菱UFJ銀行 鳴子支店(学術25回)	0
銀行預金	七十七銀行 東勝山支店(学術26回)	1,204,005
銀行預金	みずほ銀行 富山支店(学術27回)	500,000
前渡金	イラスト作成代(学術26回)	165,000
資産合計		20,412,208
負債の部		
仮受金		0
前受金	寄付金、広告料、展示出展料(学術26回)	869,000
未払費用【一般】	一般会計立替金の未清算分	500,000
負債合計		1,369,000
差引正味財産		19,043,208

貸借対照表総括表

令和5年8月31日現在

(単位：円)

科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	内部取引消去	合計
資産の部					
流動資産					
現金(一般会計)					0
現金(認定・特別会計)					0
現金(学術集会・特別会計)					0
(現金合計)	0	0	0	0	0
ゆうちょ銀行	2,085,274				2,085,274
三菱東京UFJ銀行	57,526,594		0		57,526,594
みずほ銀行	568,790	49,916,611	18,543,203		69,028,604
七十七銀行			1,204,005		1,204,005
みずほ銀行			500,000		500,000
					0
					0
(預金合計)	60,180,658	49,916,611	20,247,208	0	130,344,477
貯蔵品	396,096				396,096
未収入金	921,000	1,940,000			2,861,000
立替金【認定】	1,599,179				1,599,179
立替金【学術】	500,000				500,000
前渡金			165,000		165,000
前払費用	3,850				3,850
固定資産					0
敷金					0
資産合計	63,600,783	51,856,611	20,412,208	0	135,869,602
負債の部					
流動負債					
未払金	4,936,582	4,593,578			9,530,160
未払費用【一般】		1,599,179	500,000		2,099,179
未払法人税	70,000				70,000
未払消費税	263,700				263,700
前受金	544,000		869,000		1,413,000
預り金	21,438				21,438
仮受金	5,500				5,500
負債合計	5,841,220	6,192,757	1,369,000	0	13,402,977
正味財産の部					
一般正味財産	57,759,563	45,663,854	19,043,208		122,466,625
正味財産合計	57,759,563	45,663,854	19,043,208		122,466,625
前期繰越	45,485,303	41,511,998	17,989,455		104,986,756
当期収支差額	12,274,260	4,151,856	1,053,753		17,479,869
負債・正味財産計	63,600,783	51,856,611	20,412,208		135,869,602

監事監査報告書

一般社団法人
日本腎不全看護学会
理事長 松木 理浩 様

私たちは、日本腎不全看護学会の2022年9月1日から2023年8月31日までの財産の状況について、2023年10月12日に監査を行いました。

また、理事の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行いました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議の議事録、および理事などからその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧し、事務局などにおいて業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査を実施いたしました。

記

監査結果

- ① 事業報告書は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- ② 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- ③ 計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産状況を正しく示しているものと認めます。
- ④ 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2023年10月12日

一般社団法人日本腎不全看護学会

監事 熊澤 ひとみ 

同 濱井 章 

第2号議案 2023年度事業計画および予算案承認の件

当学会の2023年度事業計画および予算案を下記のとおり策定したので、その承認を求める。

2023 年度事業計画

執行役員会

理事長：松木理浩

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 学会運営が円滑に行われる</p>	<p>1. 理事会の開催（年 5 回予定） 理事会に合わせた事前打ち合わせとして、執行役員会を開催する。理事会に合わせて開催する。</p>	<p>COVID19 の状況により、年 1 回は集合型による理事会を開催する。その他については Web 会議とする。（Zoom の利用）理事会の運営がスムーズになるように事前に、各委員会の議案書の確認や議題について確認する。</p>
	<p>2. 委員会の見直しと編成</p>	<p>現在 14 委員会により構成されているが、委員会によって、作業量の格差が生じているため、委員会の再編成を行う。</p>
<p>2. 会員のための利益が担保される。</p>	<p>1. 会員にとってメリットのある事業の実施。</p>	<p>執行役員による会員向け企画などを行う。現在委員会編成を行っており、今後、委員会で連携した企画を行う予定があるため、その対応を取りたいと考えています。（現在は、CKDLN に対してアンケート調査を行う予定）</p>
		<p>インボイス制度の登録を進める。本学会と取引企業に対する対応として社会情勢を考えて、対応することとする。</p>
<p>3. 関連学会との連携を維持する。</p>	<p>1. 派遣の必要性がある場合は対応していく。</p>	<p>CKDLN の認定を 5 学会合同で行っていることを含めて、関連学会から学術集会や記念式典への参加要請があるため、必要に応じて対応する。</p>
		<p>以上</p>

2023 年度事業計画

編集委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 本学会誌を年 2 回 発刊し、投稿論文数 の増加・質向上を狙 う</p>	<p>1. 学会誌発行(電子化)</p> <p>2. 査読・投稿論文の質の担保</p> <p>3. 事業運営のための委員会開催</p>	<p>(1) 2024 年 4 月 第 26 卷 1 号発刊 2023 年 11 月 第 26 回学術集会大会長へ原 稿依頼 2023 年 12 月 掲載原稿決定 2024 年 1 月 最終原稿受理 2024 年 3 月 校正</p> <p>(2) 2024 年 10 月 第 26 卷 2 号発刊 2024 年 7 月 掲載原稿決定 2024 年 8 月 最終稿入稿、 認定委員会より CKDLN 事例報告原稿受理(必 要時) 2024 年 9 月 校正</p> <p>第 3 回査読セミナーの実施 セミナー案：抄録の査読、文献の見極め 学術集会での相談コーナーの設置 第 27 回学術集会にて、論文投稿相談コーナ ーを設置し、論文投稿の支援を行う</p> <p>(1) 2023 年 11 月 Web 開催 (2) 2023 年 12 月 (詳細未定) (3) 2024 年 1 月 (詳細未定) (4) 2024 年 2 月 (詳細未定) (5) 2024 年 3 月 (詳細未定) (6) 2024 年 4 月 (詳細未定) (7) 2024 年 5 月 (詳細未定) (8) 2024 年 6 月 (詳細未定) (9) 2024 年 7 月 (詳細未定) (10) 2024 年 8 月 (詳細未定) (11) 2024 年 9 月 (詳細未定) (1)～(11)いずれも委員全員が参加予定、う ち 2 回程度は東京都内での委員会を開催予 定、その他は Web での開催予定 上記以外はメールにて委員会開催</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

2023 年度事業計画

教育委員会

委員長：鳥居芳行

活動目標	計画事業	内容
1. 腎不全看護の 基礎的教育の継続	①治療選択特別研修のテキスト の見直し。	治療選択特別研修のテキストが 2019 年以來 見直しがなされておらず、現在見直し作業中
	②治療選択特別研修のオンデマ ンド化	オンデマンドで、会員が受講しやすい体制を 構築 進捗状況によっては、従来の方法で 1 クール ほど、実施することも考慮
	③第 8 回透析看護入門研修 第 9 回透析看護入門研修	2023 年 11 月～12 月開催予定 2024 年 8～9 月頃開催予定
	④第 26 回学術集会併設基礎教育 セミナー	2023 年 11 月 19 日（日）学術集会時の開催 予定。腎移植の基礎知識について学ぶ
	⑤第 5 回 CKDLN 受験対策 セミナー	◎2024 年 2～4 月ごろ開催予定
2. 最新の知見を得 る機会を学会員 に提供する	① 第 18 回トピックス研修	◎2024 年日時未定
3. 今後取り組むべ き課題について 共有する機会 を、腎不全看護 と医療に関わる 全ての専門職に 提供する	① 2022 年度 CKDLN 研修 ② 2023 年度 CKDLN 研修	◎看護実践能力を高められるような研修内 容を検討。 ① 2023 年 11 月～12 月開催予定 ② 2024 年 9 月頃開催予定
	② 1-②と同じ	

2023 年度事業計画

研究委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
1. 腎不全看護に関する研究の質向上のための支援を行う	<p>1. JANN 会員向け研究の促進を援助する</p> <p>2. 第 3 回研究倫理セミナーの開催</p> <p>3. JANN 会員の研究相談の実施</p> <p>4. 事業推進のための委員会開催 第 1 回 委員会 第 2 回 委員会 第 3 回 委員会 第 4 回 委員会 第 5 回 委員会</p> <p>5. 倫理審査申請業務・一斉メール申請対応業務</p>	<p>1. JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信する。 研究依頼があった場合、内容を審査し、一斉メール送信を事務局に依頼する。</p> <p>2. 2023 年 9 月 3 日に開催した研究倫理セミナーで要望のあった内容について研究セミナーを開催する。 ・効果的なスライドの作り方 ・データの分析方法 ・文献検索方法 ・アンケート調査方法</p> <p>3. 学術集会開催時に、研究相談ブースの設置や、交流集会などを開催し、クリニカルクエスションからリサーチクエスションへの返還や、研究デザインの提案などを行っていく</p> <p>4. 日時場所未定</p> <p>5. JANN 会員から申請された案件について、倫理審査委員への連絡、審議、結果の報告等の業務を行う また、JANN 会員への研究依頼として一斉メール送信希望があれば、内容を審査し、結果の報告業務を行う</p>
2. 腎不全看護に寄与する研究・エビデンスの創出を行う	<p>1. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビ</p>	<p>1. 診療報酬：腎代替療法指導管理料の算定の実態や、困難感、今後の課題等の表出を行い、より実情に沿った腎代替療法意思決定支援</p>

	デンスの構築を行う	が出来るようにエビデンスの創出を目指す (本計画については今後数年間にわたる計画とする)
--	-----------	---

2023 年度事業計画

看護研究助成審査委員会 委員長：飯田美沙

活動目標	計画事業	内容
研究助成事業の維持 推進	1. 2023 年度研究助成事業 2. 事業推進のための委員会開 催	1. 看護研究助成公募及び交付 (1) 公募：2023 年 10 月 1 日～ 2024 年 2 月 29 日 (2) 公募内容の審査及び助成の決定・交付 助成件数：1～2 件 助成額：10 万～50 万円 (3) 研究助成結果報告の確認 2. メール等での適時開催

2023 年度事業計画

広報委員会

委員長：今西伸子

活動目標	計画事業	内容
1. ホームページの管理	・ ホームページの管理の継続	1. 事務局との連携 ・ 関連学会から依頼された学術集会などの紹介を掲載し、同文を LINE、Facebook でも配信する ・ ホームページ掲載内容の確認・依頼 2. サーバー管理会社との連携
2. 災害時の対応	1. 災害時の情報発信	1. 災害対策委員会との連携 2. 災害情報の発信
3. 広報の充実	1. 広報活動	1. ホームページによる学会活動の促進 2. LINE 公式アカウント、Facebook を活用しタイムリーな情報を提供する。 3. メールニュース配信の継続

2023 年度事業計画

看護政策委員会

委員長：西津規

活動目標	計画事業	内容
<p>腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望書の作成・提出</p> <p>看保連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会参加にて看護の診療報酬評価について情報収集 ・診療報酬体系のあり方に関する検討委員会にて要望書に関連した他学会との情報交換 <p>統計調査委員会と JANN 独自データ収集についての検討と実施</p> <p>CKDLN のあり方ワーキンググループ（実態調査班）の継続</p>	<p>理事会にて要望内容について審議</p> <p>他委員会より意見交換と集約</p> <p>委員会の定期的 Zoom 会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看保連情報交換会、診療報酬体系あり方委員会への参加 ・学会員への統計調査と分析 ・関連する文献検索 ・既存の腎不全看護領域に関連する診療報酬について再検討 ・CKDLN、JANN 学会員への実態調査 	<p>腎不全看護領域における診療報酬改定に向けた要件の検討（長期・短期の要望について）</p> <p>令和 8 年度診療報酬改定に向けた要望書に関連した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換の実施 ・必要データの他学会との共同依頼 ・定期的な情報交換会への参加 <p>11 月～12 月 医療技術・診療報酬委員会合同開催予定</p> <p>2 月～3 月 第 3 回 診療あり方委員会開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状調査から診療報酬に関連できるデータの分析と課題の表出 ・数値化での要望書の検討 ・令和 8 年の診療報酬改定に向けた要望書の作成

2023 年度事業計画

医療安全・感染対策委員会 委員長：小山貴也

活動目標	計画事業	内容
<p>関連学会及び他組織と協働し、腎不全看護領域の医療事故・感染対策に努める</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本医療事故調査機構（医療事故調査・支援センター）との協働 2. 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との協働 3. 医療安全感染対策について委員からの相談に対応する 4. 事業推進のための委員会を定期的に開催する 5. 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（6訂版）」の改訂への参加 6. 「透析医療における医療安全のための提言」策定のためのワーキンググループへの参加 7. 協力学会からの講演依頼に対応する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協力学会として更新・登録手続きを行う事務局担当：ガリレオ事務局 統括責任者：委員長 2. 協力学会説明会へ参加する 年1回（3月頃）開催予定 3. 医療事故調査の協力依頼に備え、全国8地区の担当者を選定する 4. 現在の調査について引き続き協力する 5. 医療事故調査依頼発生時は各担当者と協議し対応する <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会への参加（年1回） 2. 日本透析医学会学術集会・総会での委員会企画に参加する <ol style="list-style-type: none"> 1. 相談内容に応じて専門領域の看護師と協働し対応する <ol style="list-style-type: none"> 1. 年3回以上開催する（Web） <ol style="list-style-type: none"> 1. 10月責了、12月発刊予定であり終結まで活動する <ol style="list-style-type: none"> 1. 提言策定の終結まで協働し活動する <ol style="list-style-type: none"> 1. 演者選定及び講演準備の支援等を行う

2023 年度事業計画

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

活動目標	計画事業	内容
1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す	1) JHAT 隊員養成研修会への参加募集 2) JHAT 隊員への入隊募集	①効果的な広報活動のため、ホームページや SNS などを活用する。 ②JHAT 隊員養成研修の参加者数と JHAT 隊員登録数の確認と評価。 ③JANN 会員システムのリニューアル
2) JANN 会員の JHAT 隊員の増加後の地方区分の明確化	1) JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者数・分布を可視化し、地域の偏りを最小限にする。	① JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者数・分布図を可視化し、会員へ提示する。 ②配置人数や地区による偏りを明確化し、効果的な広報や JHAT 研修地区の決定に参画する。 ③JANN 会員システムのリニューアル
3) 災害時の対応。情報収集を行い、透析医会や JHAT への情報提供を行う。CKDLN の組織力を用いて情報収集体制を確立する。収集した情報を会員へ還元し災害時の情報提供体制を構築する。	1) JANN 会員、CKDLN 委員会、日本臨床腎臓病看護研究会などの他の組織との連動によって、災害現場で起きている状況や情報を早期に正確に把握するシステムの構築を目指す。また、報告内容、報告先の明確化によって情報が得られやすい体制を目指す。	①本邦の腎不全看護師のネットワークの拡大とさらに密なコミュニケーションを図るために、CKDLN 委員会、日本臨床腎臓病看護研究会 災害対策委員会を共同で事業を遂行し、本邦の腎不全看護師全体での情報伝達網を構築する。 ②効果的な広報戦略の検討と立案
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの検討と運用	1) 腎不全看護に携わる本邦の看護師の強みを生かし、災害時の情報収集や情報伝達などのシステムの構築を行い、効果的で速やかな災害対策を実践する。	①各地で導入が進んでいる DIEMAS の情報収集を行い、本邦の腎不全看護に携わる看護師の強みを生かした災害対策の検討会の実施。 ②合同検討会の内容を基盤とした災害対策の実施ができる。
5) JHAT 事業への参画	1) JHAT 事務局会議への参加 JHAT 隊員養成者研修への参画	①JHAT 事務局会議に最低でも JANN 災害対策委員会のメンバーが 1 名以上は参加できるように調整する。 ②JHAT 隊員養成研修の開催・運用

2023 年度事業計画

国際交流委員会

委員長：平松美紀

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 会員が海外の慢性腎臓病看護について関心を高められるよう支援する</p> <p>2. 海外の腎不全看護関連学会と交流し、各国の看護について情報を発信する</p>	<p>国際学会について、会員に向けて情報を提供する</p> <p>海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する</p>	<p>1) 関連のある国際学会およびセミナー等の情報を、ウェブサイト上より発信する</p> <p>1) ANNS のメンバー国と連携し、お互いに情報交換を行う。</p> <p>2) 海外からアクセスできるよう、ホームページの英語表記を整える。</p> <p>3) 海外の学会や腎不全看護の動向について情報を収集し、ニュースレター等で会員に向けて発信する。</p> <p>4) 委員や会員の国際学会参加・発表等に関するレポートを、ウェブサイト上で発信する。</p> <p>5) 有用な海外文献、トピックスなどを発信する。</p>

2023 年度事業計画

倫理委員会

委員長：新田靖之

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する</p> <p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する</p>	<p>1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す</p> <p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う</p>	<p>1) 「会員」の倫理 ー会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする 2) 「学会活動」「学会運営」の倫理 ー会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する ー役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う</p> <p>1) 日本腎不全看護学会学術集会・総会にて、交流集会を企画・運営 ・2023年11月開催の第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会にて、交流集会「こんなところに倫理？」現場で感じるモヤモヤについて考えてみよう！～身近な倫理的課題の発見と共有を目指して～を行う ・2024年11月開催の第27回日本腎不全看護学会学術集会・総会にむけて、交流集会を企画する <企画内容(案)> 日々の臨床実践で直面する倫理的な課題に関する事例をディスカッションする</p> <p>2) zoom セミナーにて臨床倫理について外部講師を招いて行う(2時間予定) <企画内容> 腎代替療法支援における臨床倫理(特に CKM への倫理的対応)やHDの途中で見送りする事例に対する臨床倫理についての講演 講演者：三浦靖彦教授(岩手保健医療大学、日本臨床倫理学会)</p> <p>3) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直し →現在の CKM や HD を途中見合わせする症例</p>

		に対する臨床倫理的な対応の最近の国内外の先行文献検索を行い、倫理委員会で更新が必要な部分の検討を行う。来年度は臨床倫理の専門家からのアドバイスを受けながら、更新版を完成させられるようにする。
--	--	---

2023 年度事業計画

統計調査委員会

委員長：福島亮

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 日本腎不全看護学会員の CKDLN の現況を調査する。</p> <p>2. 全国の腎不全看護領域での診療報酬算定の現況を調査する</p> <p>3. 統計調査を継続的に実施する。</p>	<p>1.2 共通計画</p> <p>①看護政策委員会、CKDLN 委員会、統計調査委員会の合同ワーキンググループの開催</p> <p>②ワーキンググループによるアンケートの作成</p> <p>③アンケートの実施と集計</p> <p>①上述 1.2 のアンケート結果を基に、今後どのような調査が必要か検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にワーキンググループを開催 ・調査内容、調査方法、調査時期の検討 ・アンケート作成 ・理事会を通して会員へのアンケート依頼メールの送付 ・アンケートの結果の集計 ・アンケート集計をまとめ理事会への報告 ・アンケート結果をまとめ、学会誌へ掲載し学会員にフィードバックする。 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な統計調査を実施するために、調査内容、方法、時期を検討する。 ・腎不全看護のエビデンスを構築できるような・長期的に情報を集積できるような調査内容を検討する。

2023 年度事業計画

認定委員会

委員長：中村雅美

活動目標	計画事業	内容
<p>熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高いCKD看護を実践できるCKDLNを養成する。</p>	1. CKDLN 認定審査事業	<p>1) 第 21 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：2024 年 1 月 5 日～1 月 18 日 筆記試験：2024 年 6 月 2 日（日）CBTS 方式</p> <p>2) 認定証の発行</p> <p>3) 筆記試験問題作成会議の実施</p>
<p>CKDLN の継続的な活動を支援するため、認定更新審査を実施する。</p>	2. CKDLN 更新審査事業	<p>1) 更新審査事業の実施 申請期間：2024 年 4 月 1 日～4 月 17 日 ・ 第 16 回更新審査 ・ 第 11 回再更新審査 ・ 第 6 回再々更新審査</p> <p>2) 認定証の発行</p>
<p>CKDLN が継続的に役割を果たすための支援を行う。</p>	3. 支援事業	<p>1) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会への参加</p> <p>2) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における CKDLN 相談コーナーの開設</p>
<p>CKDLN の自己研鑽の機会を確保する。</p>	4. 認定ポイント対象研修事業	<p>1) 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修に関する申請の審査の実施</p>
<p>CKDLN 資格制度が円滑に運用できるよう、関わる業務を行う。</p>	5. 事業運営のための委員会開催	<p>1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議を兼ねる）</p> <p>2) CKDLN に関わる各種要項の作成および見直し</p>

2023 年度事業計画

CKDLN 委員会

委員長：後藤浩也

活動目標	計画事業	内容
<p>CKDLN のネットワーク作りと知識向学のための CKDLN セミナーを開催する</p> <p>各委員会と連携を図る</p> <p>その他活動</p>	<p>1. 事業推進のために委員会を開催する。</p> <p>2. CKDLN 県代表者会を開催する CKDLN 広報活動</p> <p>3. 地区レベルでの CKDLN セミナーを開催する</p> <p>4. 事例検討会ファシリテータ養成</p> <p>5. 災害対策支援への連携</p> <p>6. 感染症対策への連携</p>	<p>1. 3回/年開催 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえて現地及びWeb開催を11月、3月、6月を軸に開催する。(感染の状況をふまえてリモート以外での招集も検討する)</p> <p>2. 第6回CKDLN都道府県代表者会議を2024年富山学会時に現地開催予定コロナ感染等を踏まえWeb開催も検討 事業計画、報告等会議以外に代表者同士のグループワークを実施する。 ・CKDLN自身の活動についてSNS等を用いて発信する事業をおこなう</p> <p>3. セミナー開催 状況に応じて現地開催とする 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み地区代表が中心となり開催する ・9月九州CKD看護研究会開催 ・12月中国四国地区セミナー(コロナ禍後初の現地開催) ・3月北陸地区セミナー ・5月東海地区セミナー ・7月北海道地区セミナー ・7月甲信越地区セミナー ・8月関東地区セミナー 以降は24年度計画予定 ・9月九州・10月近畿・11月東北・12月中国四国</p> <p>4. CKDLNのセミナーに必要なファシリテータ講習会を検討</p> <p>5. 災害対策委員会およびJHATと災害発生時の連携強化を図っていく</p> <p>6. 感染対策委員会と連携を図っていく</p>
<p>その他活動</p>		<p>1. CKDLN企画 仙台学会にてCKDLNの魅力や今後について学会員の方とワークショップを開催する</p>

2023 年度事業計画

CKD 委員会

委員長：中村雅美

活動目標	計画事業	内容
<p>CKD 看護の質向上を目指し、CKD 看護に関する知見を体系的に集積する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透析看護に関する集積された知見に沿って、2023 年度の CKD 委員会の活動内容を検討する。 2. 計画に沿って活動を実施する 3. 事業運営のための委員会開催する 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2022 年度の CKD 委員会で行っているアンケート結果で抽出された「健康寿命」についての知見を参考にし、今年度の活動内容を計画し、活動の実践へと繋げる。 2) CKD 委員会の実施細則に沿って、CKD 委員会の在り方を委員とともに再検討する。 1) 2 年間の委員会活動を細かく計画する。 2) 計画に沿って実践に繋げる 1) オンライン会議を基本として、年 4 回程度委員会を開催する。 2) 年に一度以上は集合し計画内容の検討や実践の計画修正・追加を対面で検討する。

2023年度予算案 <一般会計>

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備考(内訳)
1	年会費	35,800,000	36,160,000	35,580,000	
2		1,500,000	1,610,000	1,500,000	(一般)過年度
3		33,220,000	33,410,000	33,060,000	(一般)当年度 納付率85%想定
4		1,080,000	1,140,000	1,020,000	(賛助)当年度 納付率95%想定
5		0	0	0	(名誉)
6	研修費	2,880,000	1,362,000	2,930,000	
7		840,000	0	600,000	CKDLN受験対策セミナー
8		600,000	76,000	200,000	透析看護入門研修
9		600,000	956,000	800,000	トピックス研修
10		360,000	0	400,000	CKDLN研修
11		180,000	0	180,000	査読セミナー
12		300,000	330,000	300,000	研究セミナー
13				450,000	倫理セミナー
14	教育セミナー費	2,900,000	905,000	3,500,000	CKDLNセミナー 各地区で開催
15	特別研修費	5,400,000	2,588,000	4,680,000	
16	その他収入	295,000	298,671	317,000	
17	雑収入	251,000	254,659	317,000	テキスト印税、WEB文献使用料、研究倫理審査申請費、認定ポイント対象研修会申請料など
18	受取利息	0	12	0	預金利息
19	受取手数料	44,000	44,000	0	学会誌広告掲載料
20	収入合計	47,275,000	41,313,671	47,007,000	

支出の部 I

行No.	項目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備考(内訳)
21	会議費	1,550,000	687,678	1,550,000	役員会4回、理事会4回、社員総会1回、会計監査1回
22		200,000	220,905	200,000	役員会・理事会・会計監査 (会議会場費、お弁当代)
23		800,000	128,184	800,000	役員会・理事会・会計監査 (交通費)
24		50,000	22,940	50,000	役員会・理事会・社員総会 (通信費)
25		500,000	315,649	500,000	役員会・理事会・会計監査 (雑費)
26	委員会活動費	5,120,200	401,824	5,517,400	
27		227,000	0	547,500	編集委員会 (会議費、交通費など、投稿論文相談ブース費用含む)
28		270,000	0	280,000	教育委員会 (会議費、交通費など)
29		632,000	3,560	672,500	研究委員会 (会議費、交通費など、研究倫理審査費用、研究相談ブース費用含む)
30		50,000	0	50,000	看護研究助成審査委員会 (会議費、交通費など)
31		183,000	55,935	181,000	広報委員会 (会議費、交通費など)
32		172,000	0	272,000	看護政策委員会 (会議費、交通費など)
33		260,000	0	298,000	災害対策委員会 (会議費、交通費など)
34		10,000	0	213,000	医療安全・感染対策委員会 (会議費、交通費など)
35		127,000	4,230	380,500	国際交流委員会 (会議費、交通費など)
36		150,000	9,220	150,000	倫理委員会 (会議費、交通費など)
37		350,000	0	567,500	統計調査委員会 (会議費、委託費など)
38		323,000	7,200	600,000	CKD委員会 (会議費、交通費など)
39		86,200	121,479	209,000	認定委員会 (会議費など、認定ポイント対象研修会審査委託費含む)
40		1,980,000	2,200	1,096,400	CKDLN委員会 (会議費、交通費など)
41		300,000	198,000	0	選挙管理委員会
42	研修費	1,309,000	810,273	2,233,450	
43		250,000	289,553	302,400	トピックス研修 (謝礼、委託費など)
44		220,000	218,334	336,360	透析看護入門研修 (謝礼、委託費など)
45		300,000	0	318,980	CKDLN受験対策セミナー (謝礼、委託費など)
46		0	155,966	180,550	学術集会併設セミナー (謝礼、委託費など)
47		210,000	0	284,360	CKDLN研修 (謝礼、委託費など)
48		174,000	0	168,000	査読セミナー (謝礼、委託費など)
49		155,000	146,420	158,000	研究セミナー (謝礼、委託費など)
50				484,800	倫理セミナー (謝礼、委託費など)
51	教育セミナー費	2,876,000	1,427,892	3,499,600	
52		1,300,000	0	900,000	CKDLNセミナー会場費 (研修会場費)
53		150,000	53,790	170,000	CKDLNセミナー交通費 (講師等旅費)
54		1,426,000	1,374,102	2,429,600	CKDLNセミナーその他経費 (謝礼、委託費など)

55	特別研修費	3,080,000	1,876,101	3,409,440	
56		0	0	0	会場費 (研修会場費)
57		0	0	200,000	交通費 (講師等旅費)
58		3,080,000	1,876,101	3,209,440	その他経費 (講師謝礼、消耗品、委託費など)
59	広報費	12,600,000	11,777,512	9,966,000	
60		1,800,000	1,400,163	1,600,000	通信費・荷造運賃 (会告などの発送代、宅配便 他)
61		600,000	483,927	666,000	ホームページ・LINE管理費 (ホームページ管理・更新手数料、公式LINE利用料)
62		700,000	490,556	700,000	印刷費 (会告、封筒など)
63		9,500,000	9,402,866	7,000,000	学会誌 (電子版2回)

支出の部Ⅱ

行No.	項目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備考(内訳)
64	事務局費	12,890,000	12,058,131	12,960,000	
65		300,000	77,501	300,000	通信費 (事務通信費)
66		150,000	109,340	150,000	交通費 (関連学会参加交通費)
67		100,000	9,521	100,000	消耗品費 (事務消耗品費)
68		800,000	767,800	800,000	支払報酬料 (税理士、司法書士)
69		7,790,000	7,419,745	7,790,000	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投稿査読管理業務)
70		730,000	748,000	750,000	関連学会年会費 (IHAT、看保連、看護系学会、全腎協)
71		1,800,000	2,016,973	2,000,000	雑費 (クレジット決済手数料・コンビニ手数料、振込手数料等)
72		1,150,000	839,251	1,000,000	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
73		70,000	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)
74	助成金	500,000	0	500,000	看護研究助成金
75	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
76	支出合計	40,925,200	29,039,411	40,635,890	
77	収支差額	6,349,800	12,274,260	6,371,110	
78	正味財産前期繰越	45,485,303	45,485,303	57,759,563	
79	正味財産次期繰越	51,835,103	57,759,563	64,130,673	

2023年度予算案 <認定制度・特別会計>

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備考(内訳)
1	受験料	2,400,000	2,640,000	2,400,000	第21回認定試験受験申請 30,000×80名
2	認定登録料	680,000	860,000	680,000	(第21回受験)10,000円×68名
3	更新審査料	8,100,000	3,720,000	5,010,000	(第11回再更新、第16回更新)30,000円×167名
4	更新登録料	5,120,000	1,680,000	3,160,000	(第11回再更新、第16回更新)20,000円×158名
5	更新審査・登録料	400,000	520,000	350,000	(第6回再々更新)10,000円×35名
6	更新延長料	20,000	1,100,000	460,000	20,000円×23名
7	再認定審査料	0	80,000	50,000	10,000円×5名
8	バッチ購入	0	6,500	0	
9	受取利息	0	0	0	
10	雑収入	0	4,040	0	
11	合計	16,720,000	10,610,540	12,110,000	

支出の部

行No.	項目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備考(内訳)
12	認定試験・更新関連費用	2,800,000	1,716,903	2,968,000	
13	会場費	130,000	25,080	150,000	審査会議等会場費
14	会議費	30,000	8,798	34,000	お弁当代等
15	旅費交通費	650,000	91,300	650,000	会議交通費
16	通信費	250,000	149,216	250,000	通信費(切手、宅配便)
17	印刷費	10,000	0	10,000	会議印刷費
18	消耗品費	200,000	59,059	200,000	備品費
19	支払報酬料	640,000	494,000	784,000	書類・事例審査、作問等謝礼
20	委託費	880,000	880,000	880,000	CBT認定試験運営費
21	雑費	10,000	9,450	10,000	備品、振込手数料
22	その他費用	6,730,000	4,741,781	5,830,000	
23	業務委託費	6,000,000	4,417,867	5,100,000	CKDLN認定業務
24	通信費	30,000	0	30,000	資料送付など
25	雑費	700,000	323,914	700,000	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
26	租税公課	0	0	0	預金利息(国税)
27	予備費	500,000	0	500,000	
28	支出合計	10,030,000	6,458,684	9,298,000	
29	収支差額	6,690,000	4,151,856	2,812,000	
30	正味財産前期繰越	41,511,998	41,511,998	45,663,854	
31	正味財産次期繰越	48,201,998	45,663,854	48,475,854	

第3号議案 理事選任の件

下記のとおり新理事を選出したので、その承認を求める。

(21名)

氏名	所属先
青木 栄子	いなげ腎クリニック
阿部 利恵	NPO 法人日本看護キャリア開発センター
飯田 美沙	長野市民病院
板谷 真紀子	医) おひさま会 おひさま在宅クリニック
今西 伸子	医) 柏友会 柏友クリニック
宇賀神 ゆかり	JCHO 大阪病院
薄井 園	公立学校共済組合 東海中央病院
江上 豊	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院
岡 美智代	群馬大学大学院
小山 貴也	医) 桑園中央病院
片村 幸代	医) 名古屋記念財団 新生会第一病院
剣持 貴史	群馬医療福祉大学
小坂 志保	東邦大学
篠原 謙太	日本赤十字広島看護大学
城間 久美絵	熊本赤十字病院
高井 奈美	名古屋大学医学部附属病院
高橋 さつき	群馬大学大学院
徳田 勝哉	医) 原三信病院
鳥居 芳行	医) 光寿会 法人本部
鉾立 優作	公財) 豊郷病院
山本 美和	医) 明陽会 成田記念病院

(五十音順)